

3. 「子育てするなら富田林」を一層推進

(2) 学校図書館図書標準について

- ①小中学校それぞれの図書標準達成率は？
- ②廃棄した本と新しく購入する本の割合は？
- ③整備すべき蔵書の標準を満たすために計画的な蔵書を

【答弁】

それでは、3. 「子育てするなら富田林」を一層推進 の(2) 学校図書館図書標準について の ①から③については関連いたしますので一括してお答えいたします。

学校図書館は、児童生徒の読書活動の場である「読書センター」、学習活動を支援する「学習センター」、情報の収集・選択・活用能力を育成する「情報センター」としての機能を有しております。

また、主体的・対話的で深い学びを効果的に進める基盤としての役割も期待されていることから、学校図書を充実させることは重要であると考えております。

図書標準の達成率につきましては、これまでから学校図書の充実には力を入れており、令和元年度末現在では、小学校全体で113.3%、中学校全体で101.3%となっております。しかしながら、学校単位では、小学校で1校、中学校で4校が、100%に達していない状況もございます。

また、学校図書につきましては、児童生徒が常に正しい情報に触れる環境も必要となりますことから、学校と専門的な知識・技能をもった学校司書が連携し、令和元年度においては、小学校全体で1,270冊、中学校全体で385冊の古い図書を廃棄し、新規に小学校全体で3,566冊、中学校全体で2,098冊を購入しており、子どもたちにとって必要な図書の充実に努めているところです。

教育委員会としましては、子どもたちにとっての読書活動は、学力の向上はもとより、豊かな人間性を育む助けとなることから、今後も引き続き、図書標準の達成をめざすとともに、新しい図書への更新も図りながら、計画的に学校図書の充実に取り組んでまいります。

以上で、お答えとさせていただきます。